

## 魚沼基幹病院 Next Mission



魚沼基幹病院  
病院長  
**生越 章**  
(おごせ あきら)

### 4つの柱を礎(いしずえ)に、 次の10年も「誠心誠意」医療を実践

平成27年に開院した当院も、おかげ様で10周年の節目を迎えることができました。地域の皆様のご協力、そして医療と福祉に携わる大勢のスタッフの献身的な働きによって魚沼の医療は継続されてきたと思います。この間に当院の看護師不足やその後のパンデミックなどの課題を解決しつつ、ようやく当初目標にしていた救命救急医療への安定し

た対応、がん診療などの高度専門医療の充実、医師や看護師の人材育成において徐々に成果を上げています。さらに地域の医療連携にも力を入れ、周辺病院のスタッフとの意見交換会なども積極的に開催してまいりました。現在多くの医療機関が赤字問題に苦しんでおりますが、病床稼働の効率化などを中心に努力した結果、病院経営にも明るい

兆しが見えてまいりました。これからの10年は急激な人口減少に伴って、病院の在り方にも大きな変化が必要になると予想されますが、病気やけがで苦しむ方のために、「誠心誠意」医療を実践していくことは変わりません。地域の皆様とともにより良い病院になるよう努力してまいりますので、引き続きご支援いただけますと幸いです。

## 魚沼基幹病院 Information

### 「医療人材育成」と「高度医療」を あなたのご支援でさらに強く

魚沼地域の医療の質を守り、未来へつなぐ仕組みとして、新潟大学のご協力で「新潟大学魚沼地域医療教育センター 魚沼基幹病院基金(UKB基金)」が設置されました。この基金への寄附金は、総合診療医の育成、医療人材の定着

などの人材育成や医療機器等の整備に活用いたします。新潟大学の寄附・サポート窓口からのお申し込みとなり、税法上の優遇措置が適用されます。

**【お問合せ】魚沼基幹病院総務課**  
025-777-3200

**「UKB基金」  
募集中!**

U  
K  
B  
基  
金  
の  
詳  
細  
は  
こ  
ち  
ら

### 遺伝性疾患などのお悩みを相談いただける 外来を開設しました



遺伝性疾患について、正確な遺伝医学的情報を提供し、相談者が自律的に意思決定できるよう、臨床遺伝専門医、認定遺伝カウンセラーと診療科の医師によるチームで診療しています。詳細は当院ホームページをご覧ください。

**【診療時間：第2・4水曜日13:30～】**



### チーム医療に欠かせない「薬剤師」 基本給を増額し、さらに安心して働ける病院へ



当院は体制強化のため、薬剤師を募集しています。奨学金の代理返還制度(最大500万円)の他、新たに基本給を増額し、若手世代の経済的負担を全力でサポート。地域医療に貢献しながら、安心して働ける当院でキャリアを築きませんか? ご応募お待ちしております。



# うおぬま通信

第14回

保存版

[発行]新潟県 2026年3月 第14回 10年前の約束を、いま、確かな安心へ。～魚沼基幹病院 開院10周年～



魚沼地域  
医療の輪  
輪を結んでつなぐ

## ～魚沼基幹病院 開院10周年～ 10 YEAR ANNIVERSARY UONUMA KIKAN HOSPITAL



「うおぬま通信」についてのお問合せ 新潟県福祉保健部地域医療政策課

新潟市中央区新光町4番地1 直通：025-280-5981 (平日8:30～17:15)

# 特集：10年前の約束を、いま、確かな安心へ。

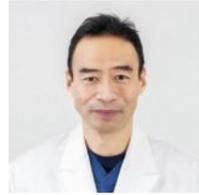
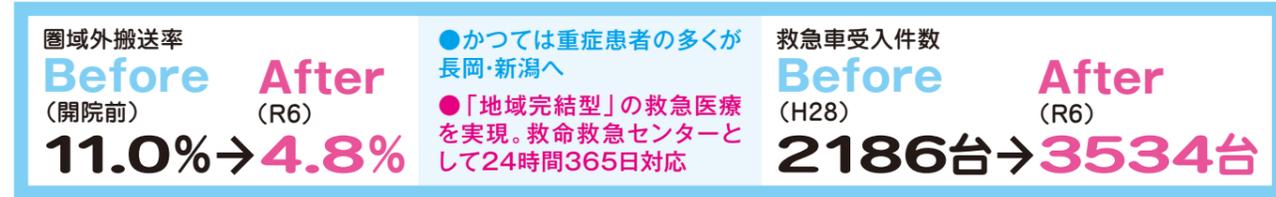
～魚沼基幹病院 開院10周年～

令和7年6月、魚沼基幹病院は開院10周年を迎えました。これまで、開院時に掲げた4つのミッションの実現に向けて、地域の皆さまとともに歩みを重ねてきました。本紙では、この10年の取り組みや成果を振り返り、4つのミッションに対して魚沼基幹病院が果たしてきた役割をご紹介します。



## Mission 1：救命救急医療 「最後の砦」として、この地で命を救う

もしもの時、**圏域外へ運ばれる不安が激減**しました。



魚沼基幹病院  
地域救命救急センター長  
**山口 征吾**先生  
(やまぐち せいご)

当院の救命救急・外傷センターは、魚沼地域の救命率向上を掲げてスタートしました。開院以来、多くの救急患者を受け入れ、長岡や新潟へ搬送される圏域外搬送は激減しました。近年、当院への救急車の受入れは増加傾向にあります。救急科の

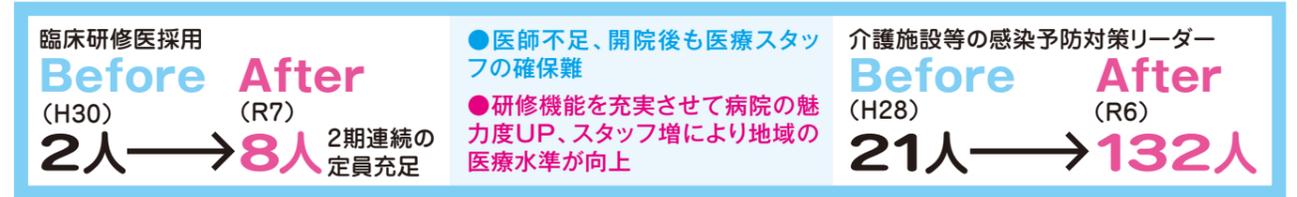
医師を中心に、各診療科と協力して診療に当たり、救命率の向上に努めています。今後もしばらく救急車受入件数の増加が見込まれますが、地域の命を支える「最後の砦」として、これからも着実に役割を果たしてまいります。

平成27年6月1日▶新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 開院  
▶救命救急・外傷センター 開設  
令和 5年度 ▶救急車の受入れ件数が年間3,000台を超える



## Mission 3：人材育成 医療の未来を担う「人」を、ここから育てる

**若い力が集まる病院。活気が地域の医療を支えます。**



魚沼基幹病院  
副院長/  
新潟大学魚沼地域医療教育センター長  
**高田 俊範**先生  
(たかだ としのり)

地域医療・高度医療を担う医療人材の育成にも取り組んでいます。近年、当院で学ぶ臨床研修医は増えており、修了後も多くの研修医が県内医療機関に定着しています。令和5年6月からは看護師の特定行為研修を開講し、院内外から広く受講生を受け

入れ、修了者は地域の在宅医療の現場などで活躍しています。また、看護学校や医療専門職養成校からの実習受入れ、地域の介護施設等での感染予防対策リーダー養成活動など、魚沼圏域全体の医療水準の向上に貢献しています。

平成29年3月 1日▶臨床研修病院(基幹型)に指定  
令和 5年2月22日▶看護師の特定行為研修指定研修機関に指定  
令和 6年4月 1日▶基幹型臨床研修医の定員(8名)を初めて充足



## Mission 2：高度専門医療 大学病院レベルの治療を、住み慣れた魚沼で

がん治療も、高度医療も。**地域で受けられる日常へ。**



魚沼圏域の高度専門医療を担うことは魚沼基幹病院の使命です。開院前は他圏域に頼っていたがん治療も、現在は魚沼圏域で提供できる体制が整い、相談支援や緩和ケアの充実により令和3年3月に当院は「地域がん診療連携拠点病院」に指定されました。

また、鏡視下手術や放射線治療など患者さんに負担の少ない低侵襲治療を推進する「からだにやさしい治療センター(院内標榜)」を設置し、年間1,100件以上の治療を実施しています。令和8年度には整形外科に最新鋭の手術支援ロボットを導入予定です。



魚沼基幹病院  
腫瘍センター長/  
消化器外科・  
一般外科部長  
**小杉 伸一**先生  
(こすぎ しんいち)



▲0-armイメージングシステム  
手術中、体の中を立体的にX線撮影することで、手術の精度を高めます。



平成27年12月 ▶リニアックによるがん放射線治療 開始  
平成30年11月15日 ▶O-armイメージングシステム導入  
令和 3年 3月29日 ▶地域がん診療連携拠点病院に指定  
令和 3年 4月 ▶「からだにやさしい治療センター(院内標榜)」を開設

## Mission 4：魚沼圏域の医療連携 “地域全体でひとつの病院”理念の実現

病院完結型の医療から、**地域完結型の医療へ。**



魚沼医療再編から10年が経過し、当院をハブとした地域の医療機関との役割分担が進み、魚沼の医療は新たなステージを迎えました。当院との間で患者さんの紹介・逆紹介の実績が大幅に向上していることは、「信頼でつながる医療の輪」が広

がり続けている証です。これからも、住民に寄り添った医療連携をさらに発展させるとともに、人材育成や医療設備の充実に力を入れ、地域の病院への医師派遣を通じて、地域ごとの医療ニーズにも的確に



魚沼基幹病院  
地域医療部長/  
病院長特命補佐  
**飯野 則昭**先生  
(いいの のりあき)

平成29年7月1日▶地域連携だより「KIKANリンク」創刊  
令和 5年4月1日▶地域連携推進室 設置  
令和 5年8月1日▶紹介受診重点医療機関(紹介状を持って受診していた)に重点をおいた医療機関として公表



▲令和7年8月 魚沼圏域の3医師会との合同意見交換会